

2023年度のベンチャービジネス研究所の活動を振り返って

追手門学院大学 ベンチャービジネス研究所所長 経営学部教授 村上 喜郁

追手門学院大学 ベンチャービジネス研究所 所長の村上喜郁です。

冒頭に、2024年1月1日に発生いたしました「令和6年能登半島地震」でお亡くなりになった皆様のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様の生活の復旧、並びに地域産業の早急な復興を祈念いたしたいと思っております。

2023年度は、新型コロナ（COVID-19）の猛威もひと段落し、日常が取り戻されつつある年ではなかったでしょうか。新型コロナの蔓延は、社会の様々なところで変化をもたらしました。我々の関わるビジネスの世界においても、「働き方改革」や「DX（Digital Transformation）推進」が急激な進展を見せました。また、社会環境の変化は経営環境の変化でもあります。日本でも、これまでにはなかった新しい事業、産業が芽吹きを見せています。

2023年度のベンチャービジネス研究所の活動でも、コロナ禍から脱し対面型イベントを数多く開催いたしました。春の明光義塾協賛「第10回 追手門グッズコンテスト」（7月24日）ならびに、秋の「フジテック杯 第14回 追大 学生ビジネスプランコンテスト」（12月19日）は当学経営学部との共催により、対面にて開催いたしました。学部との共催により、数多くの経営学部学生、ならびに他学部学生もこれら大会に参加していただきました。また、ビジネスプランコンテスト関連では、外部講師としてアプリル(株)代表取締役 福嶋伸之氏を招き、全10回の学生研究会を実施いたしました。当学ビジネスプランコンテスト入賞者の多くが、この研究会出身者となっております。福嶋先生におかれましては、丁寧かつ実践的な指導を学生にいただき、あらためてお礼申し上げたいと思っております。

さらに、「第49回 茨木フェスティバル」（7月29日・30日）では、昨年同様に茨木商工会議所と共に参加し、市民アンケートをおこないました。この分析

結果は『ベンチャービジネス・レビュー特別号』として公刊しております。また、当学学園祭にて、併設茨木中高等学校主催の中高校生向けコンテスト「Otemon Design Awards 2023」（10月28日）を後援いたしました。この大会には、本研究所からの紹介により、協賛企業もつけることができました。さらに、例年参加する北おおさか信用金庫「きたしんビジネスマッチングフェア」（11月8日・9日）については、本学の理工系学部創設を見据え、研究企画課（産学官連携オフィス）と共同で出展いたしております。

また、研究におきましては、昨年に引き続き、(株)サイネックスから共同研究「北大阪の元気な中小・中堅企業プロジェクト」、(一財)教育振興財団から受託研究「起業関連コンテンツ制作に関する検討」をお受けしております。前者に関しましては、報告書も完成し、2024年度は一般に向け書籍化も進める計画です。後者に関しても、その成果として、4本の起業向けセミナー動画の完成を予定しております。さらに、北摂総合研究所より引き継ぎました「質的食資源と地域振興に関する研究」におきましては、2024年2月にその研究成果の集大成として、『大阪・北摂のガストロノミー-地域振興のための食資源-』を上梓いたしました。

以上の様に、2023年度はまさに、「コロナからニューノーマル」を感じさせる一年であったと感じております。本研究所が、様々な研究・教育活動が行えたことも、協力いただいた企業の皆様、学生の皆さん、所員の先生方他のご協力の賜物だと考えております。ここにお礼申し上げます。

2024年度も、本研究所は、「ベンチャービジネス研究」と「地域企業・自治体との連携」に一層尽力したいと考えております。関係各位の皆様におかれましては、ご協力のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

Newsletter

追手門学院大学ベンチャービジネス研究所

第14回追大学生ビジネスプランコンテストを終えて

審査員 三重中京大学 名誉教授 寺本 博美 (ベンチャービジネス研究所顧問)

二度目の審査員。今年度はリモートではなく、ライブ。臨場感は刺激的です。緊張感と期待をともなう、長丁場でしたが、前回以上に楽しむことができました。

さて、プレゼンテーションの内容について見れば、特別部門（ダイバーシティに寄与するニュービジネス）と一般部門（ニーズがあるもののこれまで供給がなかった、社会に役立つビジネスプラン・アイデア）に分かれて、「波の上の魔術師」の如く、時代のキーワードプランナーとして、万全ではなくとも十分に準備して、プレゼンテーションに挑まれたことを高く評価したいと思います。

Q&Aの際の的確な応答からは、プラン作成の段階で費やされた思考の長さや深さを推し量ることができました。きっと、活発な意見が飛び交っていたことでしょう。指導・アドバイスされた先生方が羨ましい限りです。今日のようにSNS社会では、情報収集に事欠くことはないでしょう。しかし、アナログな個人的な経験値に裏付けられたビジネスプランほど説得力があり、高得点を獲得した

ようです。

次に、ビジネスプランの実現可能性の観点から見ると、必ずしも詳細で合理的な経済計算に基づいていない点が気になりました。ビジネスは利潤を追求することが本筋です。もっとも、今年度もキーワードは、SDGsに関連するため、利潤だけを目標とするには厳しかったでしょう。社会的貢献を蔑ろにしたビジネスは敬遠されがちです。結果として、人間味のあるビジネスが志向されることになります。

社会的利益と個々のビジネスの利益、二兎を追うことは理想ですが、それに挑戦することは大切です。そこにベンチャービジネスの意義があります。もちろん、初めから上手くいくわけではありません。小柴流「やれば、できる」、文系でも。

学生ビジネスプランコンテストは、追大におけるアクティブラーニングの成果、「蝶の力学」です。



第10回 追手門 グッズコンテスト

募集期間 2023年 **5/1**[月] ▶ **6/22**[木]

募集内容

部門1
明光義塾の公式キャラクター「サボロー」を世の中に広めるグッズ
(広報普及活動を含むアイデア)

部門2
追手門学院の知名度向上につながる新しいグッズ

応募資格
追手門学院大学の学生および大阪府内の高校に通う高校生

賞・副賞

最優秀賞	2万円分	全体より1組
明光義塾賞	1万円分	部門1より1組
優秀賞	1万円分	各部門1組
奨励賞	5千円分	各部門3組
奨励賞	5千円分	全体より1組
質疑応答賞	5千円分	全体より1組
高校生敢闘賞	1万円分	全体より1組

対面開催

採用されれば、グッズ化の可能性あり!

採用されたら、グッズ化の可能性あり!

協賛 **明光義塾!**
共催 追手門学院大学ベンチャービジネス研究所、経営学部

応募の詳細はこちら ▶

プレ・追手門学生ビジネスプランコンテスト

第10回 追手門 グッズコンテスト

審査方法とスケジュール

○第1次審査(受付期間) **5/1日~6/22日**
提出された専用の応募用紙を基に審査を行います。

募集要項

7月初め 第1次審査結果報告
審査を通じた応募者にメールで結果を連絡します。
※追手門学院大学の学生にはCAMPUS SQUAREもメール配信します。

○第2次審査 **7/24日 13:00~** (本学後援)で実施します
事前作成・提出してもらったPPTによるプレゼンテーションと質疑応答を基に審査します。発表会と第2次審査の結果発表と表彰を行います。

募集内容とグッズのテーマ

部門1: **明光義塾の公式キャラクター「サボロー」を世の中に広めるグッズ**
(広報普及活動を含むアイデア)

部門2: **追手門学院の知名度向上につながる新しいグッズ**

審査基準 / 第1次審査: グッズアイデア (有用性・宣伝効果・実現可能性)
第2次審査: グッズアイデア、プレゼンテーション能力

審査員 / 本学ベンチャービジネス研究所の所員・研究員・顧問、および外部の有識者より審査委員を選出して審査。

応募方法・提出先

大学ホームページのイベントの欄にある「第10回追手門グッズコンテストのお知らせ」から専用の「応募ファイル」をダウンロードし、必要事項を記入の上、下記提出先を記入の上、応募ファイルを添付して送信してください。
提出期限: 2023年6月22日(木) 23時59分

応募ファイル提出先 <https://ws.formzu.net/dist/S92870568/>
(※項目を記入し、応募用紙のファイル添付してください)

※ 申込書に添付できる容量は6MBまでです。
※ 応募後すぐに返送される「応募申込書を受け付けました」というメールが30分以内に届かない場合は、至急事務局までメールでご連絡ください。(事務局: info_vbk@otemon.ac.jp)
※ 電話やFAX、紙での応募は一切受け付けません。
※ 応募に関する質問や相談はこちらまで: mihiyama@otemon.ac.jp (地域創造学部 廣山)

賞・副賞 (QUOカード)

最優秀賞 (2万円分 全体より1組) 明光義塾賞 (1万円分 部門1より1組) 優秀賞 (1万円分 各部門1組)
奨励賞 (5千円分 各部門3組) 奨励賞 (5千円分 全体より1組) 質疑応答賞 (5千円分 全体より1組)
高校生敢闘賞 (1万円分 全体より1組)

※賞及び副賞は変更になる場合がありますのでご了承ください。

その他の注意事項

- 応募された全てのアイデアに含まれる知的財産権は追手門学院大学又は明光ネットワークジャパンに帰属します。(アイデアをグッズとして制作する可能性があります。)
- 受賞したグッズアイデアは、応募者による発表を、掲載を公表します。
- 審査結果の発表後、造作や虚偽の内容等が判明した場合は受賞資格となります。
- その他、応募に関して、何か不明な点があれば、上記の問合せ先まで、遠慮なく質問してください。

フジテック杯 第14回 追手門 学生ビジネスプラン コンテスト

募集期間 (1次審査) **9/8**[金] ~ **10/31**[火] ▶▶▶ **12/19**[火] 午後(2次審査)

対面開催

募集テーマ

特別部門 **ダイバーシティに寄与するニュービジネス**
一般部門 **社会に役立つビジネスプラン・アイデア**

賞と副賞

最優秀賞	QUOカード 5万円分	1組
フジテック特別賞	QUOカード 3万円分	1組
優秀賞	QUOカード 3万円分	4組
奨励賞	QUOカード 1万円分	4組
質疑応答賞	QUOカード 1万円分	1組
高校生敢闘賞	図書カード 1万円分	1組

※賞及び副賞は変更になる場合がありますのでご了承ください。

応募資格

近畿2府5県畿圏内の高校、大阪府下の大学・大学院に通う学生
個人またはグループ。
ただし、大学生・大学院生の場合は、追手門学院大学の学生個人か、1名以上の追手門学院大学生を含むグループ、1チームは代表者を含めて6名以内、代表者として応募できるのは「1部門1チームまで」とします。

お問い合わせ先

追手門学院大学ベンチャービジネス研究所 (研究棟6階603 研究所・センターシェアオフィス)
住所 〒567-8502 大阪府茨木市西成2-1-15
TEL 072-641-7374 / FAX 072-643-9597
Email info_vbk@otemon.ac.jp

協賛 **フジテック株式会社**
主催 **追手門学院大学**

フジテック杯 第14回 追手門 学生ビジネスプラン コンテスト

募集要項

趣旨

本学の教育理念(目的)は「**独立自強・社会有為**」です。その実践事業の一つとして、ベンチャービジネス研究所では、学生による「ビジネスプランの作成と発表」の場を設けます。これによって起業家マインドの醸成と起業の正しいあり方への関心が高まることを期待します。

募集テーマ

特別部門: **ダイバーシティに寄与するニュービジネス**
一般部門: **ニーズがあるもののこれまで供給がなかった、社会に役立つビジネスプラン・アイデア**

審査方法とスケジュール

(1) 第1次審査: 2023年9月8日(金)~10月31日(火)の間に提出された書類を基に審査を行います。
審査結果を11月下旬にメール・大学HPで通知します。 ※追手門学院大学の学生にはOIDEAIアプリで提示配信します。

(2) 第2次審査: 2023年12月19日(火) 午後(対面開催) (予定) ※詳細は追って告知します。
事前作成・提出してもらったPPTによるプレゼンテーションと質疑応答を基に審査します。
発表会と第2次審査の後、結果発表と表彰を行います。

審査基準 / プラン・アイデアのオリジナル性・市場性・実現可能性・社会貢献性、及び、プレゼンテーション能力。
審査員 / 本学ベンチャービジネス研究所の所員・研究員・顧問、および外部の有識者の中から審査委員会を設けて審査します。

応募方法・提出先

① 下記のホームページから申込書をダウンロードし、必要事項を記入
ベンチャービジネス研究所HP <https://www.otemon.ac.jp/research/labo/venture.html>

② 応募フォームに申込書を添付して申込み **募集期間: 2023年9月8日(金)~2023年10月31日(火) 必着**
コンテスト応募フォームURL <https://ws.formzu.net/dist/S16204150/>

※ 申込書に添付できる容量は6MBまでです。
※ 応募後すぐに返送される「応募申込書を受け付けました」というメールが30分以内に届かない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください(メール推奨)。
※ 電話やFAX、ペーパーでの応募は一切受け付けません。 ※ プラン・アイデア1つにつき応募申込書1部が必要です。

応募資格

近畿2府5県(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・三重県・滋賀県) 畿圏内の高校、大阪府下の大学・大学院に通う学生
個人またはグループ。
ただし、大学生・大学院生の場合は、追手門学院大学の学生個人か、1名以上の追手門学院大学生を含むグループ、1チームは代表者を含めて6名以内、代表者として応募できるのは「1部門1チームまで」とします。

賞と副賞 (予定)

最優秀賞 (QUOカード 5万円分 1組) フジテック特別賞 (QUOカード 3万円分 1組) 優秀賞 (QUOカード 3万円分 4組)
奨励賞 (QUOカード 1万円分 4組) 質疑応答賞 (QUOカード 1万円分 1組) 動員賞 (QUOカード 1万円分 1組)
高校生敢闘賞 (図書カード 1万円分 1組)

※賞及び副賞は変更になる場合がありますのでご了承ください。

その他の注意事項

- 応募プランの知的財産権は応募者に帰属します。受賞したプランは、応募者による発表を、掲載を公表します。
- 審査結果の発表後、造作や虚偽の事実等が判明した場合は受賞資格となります。応募にあたっては知的財産権等について、第三者の権利の侵害、その他の問題が生じないよう、十分に注意してください。
- その他、応募に関して不明な点がありましたら、下記問合せ先までお問い合わせください。

お問い合わせ先

追手門学院大学ベンチャービジネス研究所 (研究棟6階603 研究所・センターシェアオフィス)
住所 〒567-8502 大阪府茨木市西成2-1-15
TEL 072-641-7374 / FAX 072-643-9597 / Email info_vbk@otemon.ac.jp

2023年度ベンチャービジネス研究所 経営学部 共催 第10回追手門グッズコンテスト 最終審査結果発表		
最優秀賞 (副賞: QUOカード2万円分)		
チーム名 ピュレ組 (経営学部)	メンバー 村上 千尋・木下 梨理	グッズ名 水分サボらんサボロー
明光義塾賞 (副賞: QUOカード1万円分)		
チーム名 teamけ孤 (経営学部)	メンバー 奥 佳子・森岡 美羽	グッズ名 サボローのyouワクワクリップ
優秀賞 (副賞: QUOカード1万円分)		
チーム名 teamけ孤 (経営学部)	メンバー 奥 佳子・森岡 美羽	グッズ名 サボローのyouワクワクリップ
チーム名 レイン・メモリー (経営学部)	メンバー 中田 結・日高 優月・園田 武蔵 高井 翔真・平岡 志織	グッズ名 多機能折り畳み収納付き傘カバー
奨励賞 (副賞: QUOカード5千円分)		
チーム名 サボるの応援隊 (経営学部)	メンバー 本多 美結・原田 雅之・播磨 諒太 高本 寛太・古石 唯知・末綱 彩雲	グッズ名 サボりたいマー
チーム名 サボローサンド (経営学部)	メンバー 和田 鈴也・中居 裕介・中野 新菜 安並 涼華・上山 鈴葉・酒谷 拓矢	グッズ名 YDKs(やる気が出る画期的な砂時計)
チーム名 よう、勉強しようぜ (経営学部)	メンバー 藤代 康太・澁谷 悠香・岸田 侑英 福元 芳枝・井川 ふうの・嶋本 陸	グッズ名 サボロータイマー
チーム名 イケてる奴ら (経営学部)	メンバー 森田 莉央・大塚 菜々美・岡本 莉奈 谷口 大介	グッズ名 Oi新時だい!片手で読めるモン
チーム名 チャチャット (経営学部)	メンバー 小林 愛太・奥村 菜由・高吉 奨太 木下 朋香・大島 雛乃	グッズ名 チャットGPTと計画!目標達成ノート
チーム名 とらいあんぐる (社会学部)	メンバー 関口 心章	グッズ名 おもてなしてとら
プレゼンテーション賞 (副賞: QUOカード5千円分)		
チーム名 レイン・メモリー (経営学部)	メンバー 中田 結・日高 優月・園田 武蔵 高井 翔真・平岡 志織	グッズ名 多機能折り畳み収納付き傘カバー
質疑応答賞 (副賞: QUOカード5千円分)		
チーム名 ローソン (経営学部)	メンバー 井川 ふうの・澁谷 悠香・岸田 侑英 福元 芳枝・藤代 康太・嶋本 陸	グッズ名 3機能タッチペン

ベンチャービジネス研究所・経営学部 共催 フジテック杯 第14回追大 学生ビジネスプランコンテスト 最終審査結果発表 2023.12.19開催		
最優秀賞 (副賞: QUOカード5万円分)		
チーム名 チーム救命救急 (特別部門)	メンバー 城元風花・木村龍基・末綱彩雲 本多美結・田中遙菜・重村樹	ビジネスプラン名 脱下調べ! ~身障者のための予約アプリ~
フジテック特別賞 (副賞: QUOカード3万円分)		
チーム名 チーム救命救急 (特別部門)	メンバー 城元風花・木村龍基・末綱彩雲 本多美結・田中遙菜・重村樹	ビジネスプラン名 脱下調べ! ~身障者のための予約アプリ~
優秀賞 (副賞: QUOカード3万円分)		
チーム名 パブリックドメイン (一般部門)	メンバー 日高優月・岸田侑英・園田武蔵 大嶋怜希・上山鈴葉・小林愛太	ビジネスプラン名 名作映画の世界を体験しよう!
チーム名 リナッシュェレ (一般部門)	メンバー 田中遙菜・城元風花・本多美結 木村龍基・末綱彩雲・西ノ内翔夢	ビジネスプラン名 リナッシュェレ ~商店街の再生~
チーム名 異世界ダイバー (特別部門)	メンバー 福元芳枝・本田悠・本田楓花 嶋本陸・大西果林	ビジネスプラン名 葛販売 ~米国の自然と人々の健康を守る~
チーム名 アレルギー (特別部門)	メンバー 本多美結・田中遙菜 末綱彩雲・城元風花	ビジネスプラン名 AllergicX
奨励賞 (副賞: QUOカード1万円分)		
チーム名 deserted temple (一般部門)	メンバー 高井翔真・前田草原・藤木郁弥 奥村菜由・富森琉人・井川ふうの	ビジネスプラン名 「寺院リバイブサービス」
チーム名 仮払金 (一般部門)	メンバー 辻空・奈良良琴音・初田開音 平野壮琉・服部翔馬・安田侑生	ビジネスプラン名 どこでもできる暮らしの知恵
チーム名 ジェントルマン (特別部門)	メンバー 元塚尋斗・棚町日向・中野新菜 島野太吾・藤代康太・平岡志織	ビジネスプラン名 花婿「ハナムコ」修行ビジネス
チーム名 お助け隊 (特別部門)	メンバー 山内みのり・梶原佑太・井澤佳乃 水谷颯吾・津門日向実・酒谷拓矢	ビジネスプラン名 Help me! ちよこっとなんでも屋
プレゼンテーション賞 (副賞: QUOカード1万円分)		
チーム名 ジェントルマン (特別部門)	メンバー 元塚尋斗・棚町日向・中野新菜 島野太吾・藤代康太・平岡志織	ビジネスプラン名 花婿「ハナムコ」修行ビジネス
質疑応答賞 (副賞: QUOカード1万円分)		
チーム名 リナッシュェレ (一般部門)	メンバー 田中遙菜・城元風花・本多美結 木村龍基・末綱彩雲・西ノ内翔夢	ビジネスプラン名 リナッシュェレ ~商店街の再生~
高校生敢闘賞 (副賞: 図書カード1万円分)		
チーム名 ゲリーオン (一般部門)	メンバー 古賀諒一・松村亮太郎・源宗馬 山ろしん・葛西駿太 <大阪明星学園明星高等学校>	ビジネスプラン名 消しゴムEraser

明光義塾協賛 第10回 追手門グッズコンテスト 最優秀賞 ピュレ組「水分サボらんサポロー」

村上 千尋・木下 梨理 (経済学部3年)

「第10回 追手門グッズコンテスト」で最優秀賞をいただきました。ピュレ組です。経済学部のチームが最優秀賞を受賞したのは、今大会が初めてだとお聞きして、驚くとともに大変嬉しく感じています。コンテスト関係者の皆様、準備段階からプレゼンテーションまで助言して下さった長町先生、ゼミの先輩方に心から感謝を申し上げます。

今回、「明光義塾様のマスコットキャラクターであるサポローを世間に広めるグッズ」というテーマのもと、私たちが提案したグッズ「水分サボらんサポロー」は、サポローがカバンやリュックにぶら下がりながら、ペットボトルを一生懸命持ってしてくれるペットボトルホルダー。公共交通機関などで見たら思わず目を奪われるグッズです。誰もが親しみやすいデザインにすることや、サポローは人の心が分かっているなかなかすごいやつというキャラクター性を活かすことを意識しました。

私たちピュレ組の2人は、これまでグッズを企画したことは一度もなく、ターゲット層の選定、実現可能性を考慮すること、キャラクターが多くの人目に触れるにはどのような形にするべきかなど、様々な課題にぶつかりました。商品企画の知識がほとんど無い中で良いグッズを考案できるのかという不安もありました。コンテスト当日、私服で会場に向かうと、他の参加者はほとんどスー

ツ姿で「間違えた。どうしよう。」と2人で震え上がり、焦りながら長町先生に電話をかけたのは良い思い出です。

今回のコンテストを通して、授業で学んだ起業の知識をもとに素材の選定や形作りなどを行い、商品企画の大変さと面白さを発見できました。また、グッズ作成を通して、ビジネスへの理解を深め、アイデアを形にする企画力を身につけられたと感じています。明光義塾の社員の方と直接お話する機会にも恵まれました。今持っている全ての力を出し切って受賞させていただいた最優秀賞は、私たちの大きな自信と成長に繋がりました。この経験を活かし、これからも日々向上心を持って様々なことに挑戦していきたいです。



フジテック杯 第14回 追大 学生ビジネスプランコンテスト 最優秀賞・フジテック特別賞 チーム救命救急「脱下調べ! ~身障者のための予約アプリ~」

代表 城元 風花 (経営学部2年)

「第14回 追大 学生ビジネスプランコンテスト」にて最優秀賞とフジテック特別賞をW受賞させていただきました。チーム救命救急の城元風花です。

ゼミでの学修の一環として、今回初めてビジネスプランコンテストに参加させていただきました。右も左もわからない状態からのスタートではありましたが、少しずつ私が理想とするビジネスプランに改善できてゆく過程を楽しむことができました。

最優秀賞・フジテック特別賞という大きな賞を2つもいただくことができ、とても嬉しく思っています。誠にありがとうございます。大会を開催して下さったベンチャービジネス研究所の皆様、協賛いただきましたフジテック株式会社様、審査員の先生方、プランやプレゼンに対してアドバイスを下さった村上先生、福島先生、そしてチームのみんなに感謝申し上げます。

私たちのビジネスプラン「脱下調べ! ~身障者のための予約アプリ~」は、身体障害者の受け入れが可能なお店や場所だけを集めた予約アプリケーションを提供するという事業提案となっています。この予約サービスが普及することによって、身体障害者の方々が生活しやすくなり、活動範囲の拡大が期待できます。それだけでなく、

世の中の多様な価値観を変えることにも繋がり、身体障害者の方々の社会進出を促すことができます。初めは身体障害者であり、電動車いすで生活している叔母を思っで作成し始めたプランでありました。しかし、身体障害者についての知識が身に付くにつれて、叔母だけでなく、全ての身体障害者の方々が生活しやすい世の中になって欲しいと感じ、このプランを考えました。

今回のコンテストでの貴重な経験を今後の学生生活、就職活動などに活かしていきたいと思えます。またこの結果に満足せず、常に上を目指し、日々精進いたします。この度は本当にありがとうございました。



グッズコンテスト最終審査進出作品 「歩いて宣伝！パソコンバッグ」を製作しました

第10回 追手門グッズコンテスト（2023.7.24開催）で提案発表があった「宣伝バッグチーム」（経営学部 田中 遥菜さん、藤本 飛成さん、松本 裕幹さん、平田 有希さん、西ノ内 翔夢さん、重村 樹さん）が提案した、「歩いて宣伝！パソコンバッグ」をグッズ化しました。

チーム代表コメント：田中 遥菜（経営学部2年）

このグッズは、パソコンバッグにOIDAIのロゴをプリントし、追手門学院大学を宣伝するものです。追手門学院の認知度向上を目的としています。

現在（2月中旬時点）、OIDAI MARKETとのコラボで、この提案から商品化を目指して、商品開発を進めています。OIDAI BAGの市販はもちろん、新入生への配布を含めたプロモーションを計画中です。

この大会への参加をきっかけに、貴重な経験ができました。この経験を活かして、今後も多くのことに挑戦していきたいと考えています。



宣伝方法・宣伝効果

通学や帰宅時にカバンとして使用

↓
多くの人の目につく

↓
「追大」の知名度アップ

6



ほくせつ探検大学活動報告

経営学部 宮崎 崇将 (ベンチャービジネス研究所所員)

ほくせつ探検大学は、北摂地域の活性化を目的に北おおさか信用金庫と株式会社サイネックスと提携し、主に情報発信などに取り組むプロジェクトです。日常的な取り組みとして北摂地域の店舗やスポットを取材し、SNS (Instagramなど)、紙 (リーフレットなど)、動画、ラジオなどの媒体を通して情報発信しています。

今期もこれまで継続的に取り組んできたInstagramを通した北摂の飲食店の紹介を行いました。今年度は投稿のデザインを刷新するなど発信力を強化するために様々な改善を行いました。

昨年度から北おおさか信用金庫の依頼により、北摂地域の新しいマップ「ほくせつ探検マップ」の制作に取り組みました。昨年度の制作物をふりかえり、デザインなどを見直し、北摂地域の基本的な寺社仏閣や公園、公共施設など観光スポットを学生が取材し、豊能地域と三島地域の2種類のマップとしてまとめました。今後北おおさか信用金庫の店舗などで配布する予定です。

今年度の新しい取り組みとして、北おおさか信用金庫のサイト「オンラインマッチングもーる」の中の「きたしん うまいもん市」に連動して、掲載店舗を学生が取材し、YouTube向けのインタビュー動画と、新たにつ

くったTikTok向けのショート動画を制作する活動に取り組みました。今年度は10店舗分の動画を制作することができました。

また、イベントへの出展や協力として以下のようなイベントに参加しました。

7月29・30日には、前年度に引き続き茨木商工会議所と共同で茨木フェスティバルに出展し、茨木市民アンケートを実施しました。本プロジェクトの学生たちが、アンケートの収集と、市民アンケートに協力してくれた来場者にお菓子すくいサービスの提供を行いました。2日間で1,111件の回答を得ることができ、前年に引き続き1,000件を超える回答を達成することができました。

また、11月8・9日に北おおさか信用金庫主催の「きたしんビジネスマッチングフェア」がマイドームおおさかにて開催されました。本学研究企画課が出展する産学連携ブースに、本プロジェクトの学生メンバーが参加しました。ブースではチラシを用いて、来場者にほくせつ探検大学などの産学連携プロジェクトに関する活動を紹介し、また、4件ほど企業からのマッチングの問い合わせがあり、研究企画課職員に協力して学生も対応しました。



うまいもん市の動画撮影風景



茨木フェスティバル



きたしんビジネスマッチングフェア

2023年度ベンチャービジネス研究所 所長・所員・研究員・顧問一覧

役職	氏名	所属等
所長	村上 喜郁	経営学部教授
所員	穴田 貴大	経営学部特任助教
所員	池内 博一	法学部准教授
所員	池田 信寛	経営学部教授
所員	石盛 真徳	経営学部教授
所員	稲葉 哲	地域創造学部専任講師
所員	井上 秀一	経営学部准教授
所員	岡崎 利美	経営学部准教授
所員	佐藤 敦信	地域創造学部准教授
所員	中井 郷之	地域創造学部准教授
所員	長岡 千賀	経営学部准教授
所員	中野 統英	経営学部教授
所員	朴 修賢	経営学部教授
所員	葉山 幹恭	地域創造学部専任講師
所員	平尾 盛史	経営学部専任講師

役職	氏名	所属等
所員	水野 浩児	経営学部教授
所員	宮崎 崇将	経営学部准教授
所員	安本 宗春	地域創造学部専任講師
所員	山下 克之	経営学部教授
所員	李 建	経営学部教授
研究員	梶原 晃	久留米大学文学部教授
研究員	村田 崇暢	経営学部非常勤講師
顧問	金森喜久男	一般社団法人 情報セキュリティ 関西研究所代表理事 パナソニック株式会社客員
顧問	木田 洋一	一般社団法人 広報支援機構理事 岩井コスモ証券監査役 毎日放送顧問
顧問	合田 順一	茨木商工会議所会頭
顧問	寺本 博美	三重中京大学名誉教授

2024.1.1現在

◆所員・研究員の募集

① 所員・研究員の募集（教員）

ベンチャービジネス研究所の活動にご参加いただける教員（所員・研究員）を募集しております。ベンチャービジネスや事業承継についての調査研究活動・出版等の事業を実施しています。入所希望の方は事務局までご連絡ください。

② 学生研究員の募集

ベンチャービジネス研究所主催の企画や事業にご参加いただける学生研究員を募集しております。

- ・ビジネスプランの企画やプレゼンテーションなどについて学ぶ研究会
- ・北摂地域の魅力を発信するプロジェクト
- ・アイデアグッズやビジネスプランのコンテスト

その他さまざまなイベントを実施しています。

ベンチャービジネス、地域貢献などに興味のある方はぜひご参加ください。先生方からも学生にお声かけください。

Newsletter vol.26

■ 編集・発行 2024年3月31日印刷
2024年3月31日発行

■ 編集代表者 村上 喜郁

■ 印刷所 川西軽印刷株式会社

■ 発行所 追手門学院大学 ベンチャービジネス研究所
〒567-8502 茨木市西安威2-1-15
TEL/072(641)7374 FAX/072(643)9597
E-mail: ventureb@otemon.ac.jp
http://www.otemon.ac.jp/research/labo/venture/